

音羽城(特に無)(指定無)(蒲生郡日野町大字音羽)(音羽山公園)

音羽城は、応永 22 年(1415)蒲生秀綱あるいは蒲生秀胤によって築城されたと伝えられています。

現在の日野町東部、音羽地区にあり、中世、蒲生郡の南端を領していた蒲生惣領家の本拠とされています。

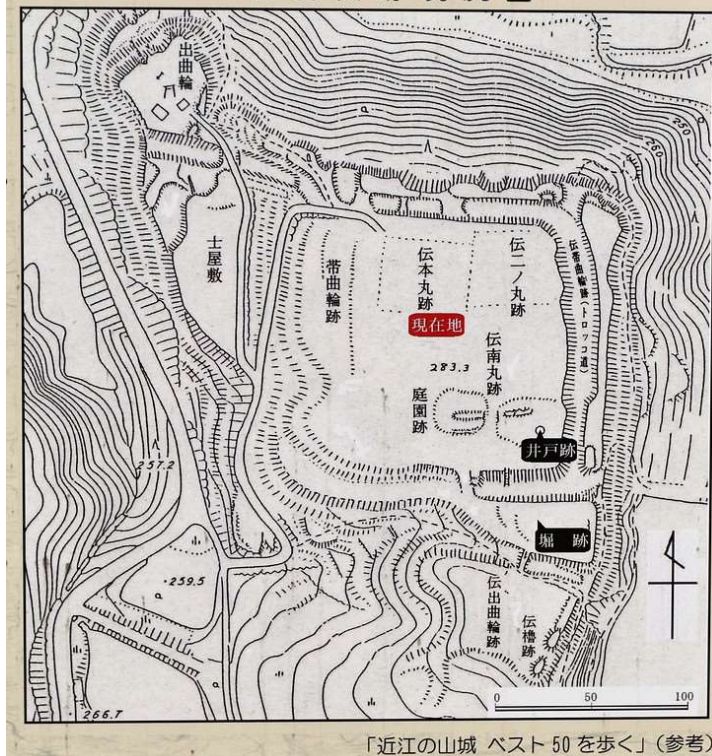
音羽城はさまざまな記録にその姿を残しており、蒲生秀胤の代に叔父である蒲生高郷と相続争いが生じた際には、六角定頼による攻撃を受け、籠城戦の舞台となっています。その後、降伏した秀胤が鎌掛城へと移った際に廃城となったと考えられます。

明治時代以降の造成や土砂採取等により、現在は大きく削平、掘削され、公園に姿を変えています。園内やその周囲には井戸跡や部分的な土塁、曲輪、堀切等が残されています。

日野町ホームページによる



音羽城跡現況図



「近江の山城 ベスト 50 を歩く」(参考)

